



第50回全国理数科教育研究大会(和歌山大会)でPS!

10月6日(木)~7日(金),第50回全国理数科教育研究大会(和歌山大会)が和歌山城ホール(和歌山市民会館)とダイワロイネットホテル和歌山にて開催されました。初日には和歌山城ホールにて高校生ポスター展示発表の時間が設けられ,3年生環境科学科の「SS探究科学Ⅲ」選択生と物理部チーム「Remember」がポスターセッションに参加しました。全国理数科設置高等学校等の校長先生や関係職員の皆さんに,課題研究の成果を発表することができました。3年生は久しぶりのポスターセッションだったこともあり,緊張しておりましたが,楽しそうに発表している姿が印象的でした。



【SS探究科学Ⅲ】ディベート本戦が開幕!

環境科学科3年生「SS探究科学Ⅲ」の授業では毎年,ディベートの成果発表会を行っています。ディベートは,ある論題(テーマ)について,肯定派と否定派が議論を繰り広げ,その議論を聞いていた第三者が審判となり,どちらがより説得力があるかを判定します。ディベート学習を通して,論題背景や発言内容等の理解力,発言内容を客観的に分析する力(批判的思考力),自らの考えを的確に効率よく伝える伝達力等が身に付きます。今年度は,『日本は遺伝性難病にゲノム編集を含む遺伝子治療を導入すべきである。是か非か。』,『和歌山県はカジノを含む統合型リゾート(IR)を誘致すべきである。是か非か。』,『日本は積極的安楽死を法的に認めるべきである。是か非か。』の3つの論題でディベートに取り組んでいます。

10月17日(月),『和歌山県はカジノを含む統合型リゾート(IR)を誘致すべきである。是か非か。』についてディベートの本戦を行いました。審判には2年生普通科文系の生徒が参加しました。同じ教室にいる生徒だけでなく,別室にいる生徒もZoom中継で審判として参加しました。当日は,非常に白熱した論戦が繰り広げられました。次回は10月27日(木)に実施予定です。

